



(上)図書館が刊行した「初めて世界一周した日本人 若宮丸漂流」(下)「松本じつち」と松本昭英さん

東松島市図書館

# 亡き松本じつちの絵本刊行

“松本じつち”的愛称で子どもたちに慕われ、東日本大震災で亡くなった松本昭英さん(享年72歳)。東松島市大曲。日本人で初めて世界一周した石巻の若宮丸を題材に、松本さんが手作りした紙芝居が東松島市図書館によつて刊行され、20日にお披露目されたことになった。

松本さんは航空自衛隊松島基地の元自衛官で、市図書館の紙芝居ボランティアサークルにかちかちかちの代表。地元の昔話などを題材にした大型紙芝居を作し、毎年図書館まつりなどで子どもたちに

披露していた。市図書館は、松本さんが手掛けた紙芝居約25作品を所蔵。本人が好きだった子どもたちのため、今後も遺族は図書館で活用されることを望んだ。

刊行された紙芝居の

が演じる。

全12場面あり、10分程度で上演できる文字数。製本版は、B4判の大きさに縮小されている。財団法人図書館振興財団の支援で製作された。図書館が紙芝居を刊行するのは極めてめずらしい。150部を製作し、市内の保育所・幼稚園、小学校、県内20の市町村図書館、47都道府県図書館に寄付した。

20日の「おひろめ会」

は午後1時から。刊行にあたって監修・補作した仙台市在住の絵本作家ときわひろみさんが演じる。

して古里に戻つてくるまでを、独特の温かな絵で描いている。

図書館は「遭難した若宮丸の乗組員は力を合わせてふるさとに帰ろうとし、結果として世界一周を成し遂げた。松本さんの紙芝居

は、世界一周が学べるたくましさが学べるはず」と話している。

郷土の歴史を学ぶ、調べ学習にも活用できることを望んでいた。松本さんが4~5年前に制作した作品で、江戸時代の実話に基づいた話。石巻の千石船「若宮丸」が漂流し、乗組員が互いに協力し合い、世界一周を周った。

20日の「おひろめ会」にあたって監修・補作した仙台市在住の絵本作家ときわひろみさんが演じる。